

川上ダム通信

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL : 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右の QR コードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

2019
2
月号



Vol. 161
Since 2005

祝！ 第1回工事現場見学会開催！

12月16日(日)、一般の方を対象とした「川上ダム工事現場見学会」の記念すべき第1回目を開催しました。

午前・午後とも満員で、12月とは思えぬ陽気となり、初回にふさわしい見学会となりました。

まずは、安全のためにヘルメットを装着。工事の進捗状況の説明を受けた後、「ダムサイト右岸展望台」で集合写真をパチリ！展望台からはダムサイト内の工事の状況が一望でき、9月から開始した基礎掘削により現れた岩盤等を目に参加者の皆様は興味津々、工事内容について熱心に質問されていました。その後「骨材仮置き場」へ移動し、見学会記念として、皆様のいろいろな想いを「骨材」へ描いていただきました。



刻々と変わる現場を背に記念撮影

「骨材」とは、ダム堤体のコンクリートの一部として使用する材料で、コンクリート打設を前に円滑な資材供給のため、打設の一年前からこの場所に運び込んでいます。今回皆様から想いを託された骨材（メモリアルストーン）もダムの一部として使用させていただきます。



メモリアルストーン（骨材）に想いを託して

この見学会は、川上ダム建設事業に関する理解を深めていただくため、原則として毎月の第3日曜日に行っていきます。

日々変わりゆく現場の姿、今だけの景色を求めて皆様も是非ご参加ください。また、見学会とあわせて川上ダム建設地である忍者の聖地・伊賀市の名所を訪れてはいかがでしょうか。

【経理課 谷村正子】



特大の40t積重ダンプと記念撮影！！

第4回川上ダム周辺整備懇談会開催

12月21日（金）、「第4回川上ダム周辺整備懇談会」を開催しました。この懇談会は、川上ダム完成後を見据えたダム周辺の整備について、地域の皆様と意見交換を行い周辺整備に反映させることを目的としたものです。当日は、青山支所管内（阿保、上津、博斐、高尾、矢持、桐ヶ丘）の住民自治協議会長の皆様、川上区長、伊賀川漁業協同組合の専務理事ならびに伊賀市にご参加いただきました。師走には珍しい陽気に恵まれ、活発な意見交換が行われました。



周辺整備予定地



親水エリアの整備イメージ

今回の懇談会では、第3回までの意見を踏まえた整備イメージをご覧いただき、整備予定地の現況とともに見ていただきました。前回の布目ダム視察時の意見等を踏まえ、これまでの3エリアに加え、新たに整備予定地として追加した前深瀬川上流域に位置する、川がダム湖に流入するエリアでは、オオサンショウウオの観光資源としての活用や、魚のつかみ取りなどレジャーとしての利用、ダム完成後のオオサンショウウオ保護池の取扱いなど、様々な意見や課題をいただきました。



親水エリアでの説明の様子

平成31年度には、詳細な整備計画を策定した上で懇談会を開催してまいります。また、川上ダムではこの懇談会と並行して、さらに広く地域の皆様と連携し地域振興を考える仕組みづくりを計画しており、それらの意見も取り入れていこうと考えております。

今後とも、将来にわたって親しまれるダムとなるような周辺整備を行ってまいります。
【調査設計課 馬場貴裕】



技術研究発表会に参加しました！

12月18日（火）、19日（水）の2日間にかけて、水機構本社で平成30年度（第52回）技術研究発表会が催されました。9月から10月に、関東、中部、関西、四国および九州の各ブロックの技術研究発表会にて審査委員の推薦を受けた計30題の論文が選出され、全国の先進的な事例や意欲的な取組についての発表がなされました。なお、関西ブロックにおける発表の様子はダム通信11月号にて紹介しています。



発表会には多くの方が聴講に訪れました
（ちなみに写真右は筆者です）

当建設所からも、関西ブロックにて推薦を受けた「転流に伴うオオサンショウウオ保護の取り組み」、「広報の新たな展開（ダムツーリズムへの取組）」の2題の論文を発表しました。

発表では、当建設所が力を入れる環境対策やこれから益々重要となる広報活動についての取組を紹介し、川上ダム建設事業の今を熱くアピールしてきました。機構内外から多数の聴講者が訪れるこのような場に参加できた意義を感じ、今後の業務に活かしていきます。

そのほか発表会では、AIや地震、広報に関する特別講演も開かれ、参考になりました。

【経理課 西澤貴之】

のぞいてみよう！川上ダムの自然

オオサンショウウオ保全対策の取り組みについて

川上ダムを建設する前深瀬川とその周辺の河川は、国の特別天然記念物オオサンショウウオが広く生息しています。

川上ダムでは、ダム建設事業により影響を受けるオオサンショウウオへの保全対策を実施しており、平成28年1月から『ダムと貯水池ができる範囲にいるオオサンショウウオを保護してダムより上流の河川へ移転する』、『移転先の河川でオオサンショウウオが川の中を移動することが難しい堰には^{そじょうろ}漕上路を設置する』、『人工の巣穴を設置する』、等の主に3つの保全対策を行っています。



堰をのぼるオオサンショウウオ



調査の状況



前年秋に孵化した幼生

※オオサンショウウオの保全対策や調査は、文化庁より現状変更の許可を得て実施しています。

また、川上ダムを含めた前深瀬川流域のオオサンショウウオの生息・繁殖状況の調査を行っており、毎年1月から3月までは、前年の秋に卵から^{ふか}孵化した^{ようせい}幼生が棲んでいた巣穴から出ていき、川底に積もった落ち葉などの下に潜む時期といわれているため、この時期に川の中で幼生調査を行っています。調査にあたり川の中・川沿いの道を調査員が歩くことがありますので、本年もご理解ご協力のほどお願いいたします。

【環境課 清水杏子】

ダムから流す水はどう使われるの？

12月12日（水）～14日（金）まで、水道事業者の視点を理解することを目的とした水道業務体験研修を、阪神水道企業団において受講しました。

阪神水道企業団 水道水源となる大きな河川がない阪神地域に、淀川で取水した水を浄水して、総延長185kmの管路で神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市・宝塚市の5つの市に水道用水を供給しています。

印象に残ったこと 写真は淀川の水を取水する地点の様子で、大きなゴミの流入を防ぐためスクリーンがついています。しかし、土砂や水に溶けた成分は処理が必要で、刻一刻と変化する淀川の水質によって処理方法を微調整されています。淀川の上流には、水資源機構が管理するダムがいくつかあります。淀川の水質に関わる、ダム貯水池の水質およびダムの操作方法について、企業団の方が高い関心を持っておられた点が印象に残りました。



取水口の清掃状況

今後の業務に活かしたいこと 川上ダムが完成すると、伊賀市がダムの水を水道用水として使用することになります。安全で良質な水を供給するという当機構の経営理念に則り、ダムから供給する水を下流で使用の方がいることに思いを馳せながら、今後の業務にあたりたいと考えています。

【工務課 野田有佑】

【番外編】阪神水道企業団では「浄水場カード」を配布しています。私も各地のカードを集めたいと思います。



ダムサイトが盛り上がっています！

ダムサイトでは基礎掘削が進んでいるほか、掘削後の斜面を保護する法面保護工や、ダムに使用するコンクリートを製造するパッチャープラントの基礎などを施工中です。さまざまな機械や多くの作業員の方々が活躍中です。

パッチャープラント基礎



ダムサイト全景



法面保護工



掘削土運搬



40t 積重ダンプ

基礎掘削



大型ブレーカ

バックホウ

~ 本体工事の進捗状況 ~

		完了	施工中	未実施
転流工	基礎掘削	基礎処理	堤体打設	試験湛水
H30.4	H30.9	現在	H31.4	H31.9
H33.10				
完成!				
(H35.3 予定)				

【工事課 水野義之】

お待たせしました!

詳しい時間は HP にて公表します。

7月号に予告した「川上ダム右岸天端展望所」が、ついに、2/1(金)から一般開放いたします!! 開場は平日の昼間を予定しております。展望所の愛称の解説などは、来月号をお楽しみに!

川上ダム工事現場見学会開催中!

川上ダムでは、事業に対する理解や興味をより深めていただくため、毎月第3日曜日に、午前・午後の二部構成で、工事現場見学会を絶賛開催中です。

詳しくは当建設所HPをご覧ください。

【第3回】平成31年2月17日(日)

【第4回】平成31年3月17日(日)
2月1日より募集開始します!



編集後記

今年も早一ヶ月が過ぎ、一年で最も寒い時期になってまいりました。

今月号の一面記事にもあるように、一般の方向けの見学会の本格始動などなど、川上ダムの広報は活況を呈しております。川上ダムの施工はスピード感があり、一週間も現場に出ないと、見違える様になってしまいます。

私も寒さに負けず、たくさん現場に出て勉強したいと思います!

なお、早朝は路面凍結している場合がありますので、お気を付けてお越し下さい。

【広報誌発行事務局】

編集長	北牧 (所長)	
デスク	大西 (総務課長)	中野 (工務課長)
記者	西澤 (経理課)	伊美 (第一用地課)
	馬場 (調査設計課)	柳瀬 (環境課)
	西 (工事課)	下園 (機械課)